

第12回 運営推進会議 議事録

令和4年3月11日

事業所名	デイサービスセンター「よつ葉」												
開催日時	令和4年2月28日(月)												
開催場所	電話・文書での開催												
参加者	<table style="width: 100%; border: none;"> <tr> <td style="width: 50%;">利用者</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1名</td> <td style="width: 30%;">知見を有する者</td> <td style="width: 10%; text-align: center;">1名</td> </tr> <tr> <td>利用者家族</td> <td style="text-align: center;">1名</td> <td>地域包括支援センター</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> <tr> <td>地域住民の代表</td> <td style="text-align: center;">1名</td> <td>事業所職員</td> <td style="text-align: center;">1名</td> </tr> </table>	利用者	1名	知見を有する者	1名	利用者家族	1名	地域包括支援センター	1名	地域住民の代表	1名	事業所職員	1名
利用者	1名	知見を有する者	1名										
利用者家族	1名	地域包括支援センター	1名										
地域住民の代表	1名	事業所職員	1名										
議題	<ol style="list-style-type: none"> 1.運営状況 2.事故・ヒヤリハット報告 3.活動報告 4.感染症対策 5.質疑応答 6.運営委員からの評価 7.今後の活動 												

会 議 録

1.運営状況

○介護度の内訳

要支援1:0名／要支援2:0名

要介護1:3名／要介護2:10名／要介護3:4名／要介護4:3名／要介護5:1名

2.事故・ヒヤリハット報告

・半年間で事故は4件、ヒヤリハットは5件

事故報告 R3年10月27日 10時00分頃

【内容】機能訓練で昇降台を行っている際、方向転換時にバランスを崩して尻もちをつくように転倒。

【対応】二人で椅子に座らせ、バイタルチェック実施。体温36.0 血圧110/60 脈55 酸素98

右わき腹の痛みを訴えられるが、再度聞くと、もう痛みはないと話される。ご家族へ連絡し、状況を説明する。9/24に自宅で転倒してしまい、その際に右わき腹の痛みを訴えられていたため、痛みはそれによるものではないかと話される。異常があれば病院へ行けるようにするので、様子をみてほしいとお願いされる。ケアマネジャーへも連絡し、状況とご家族から言われたことを伝える。それ以降は特に痛みも訴えや外傷等もなく、歩行にも支障はなかった。

【今後の対応】昇降台を行う際には、必ず付き添いを行うようにし、バランスを崩した時にすぐに反応ができるようにする。床に足が着いた際に滑って転倒しないよう、滑り止めマットを使用する。

R3年11月29日 9時00分頃

【内容】朝の送迎で居室へ迎えに行った際、利用者様がベッドから立ち上がりドアの方まで歩いてきたところ、眩暈が出現し、バランスを崩して転倒、頭をドアにぶつけてしまった。

【対応】上半身を抱え、意識や眩暈の程度を確認し、利用者様より「大丈夫」との言葉があり。椅子に座ってもらい様子をみる。血圧79/44 脈76と低血圧であるが、意識や歩行状態は改善されていた。両手引き対応にて移動され、通常通りにデイサービスを利用される。ご家族はいないため、ケアマネジャーに報告し状況を伝え、異常時には受診をしてもらえるよう依頼する。痛みや外傷は

なく、それ以降もお元気に過ごされる。

【今後の対応】急に眩暈が出現してしまう可能性があるため、ドアのあたりで待つのではなく、ベッドの近くまで迎えに行き、急な眩暈に対応できるようにする。

R3年12月4日 11時10分頃

【内容】機能訓練でフロア内歩行を行っている際、方向転換時に使用していた押し車が先に進んでしまい足が前に進まずにもつれて、転倒してしまう。その際に頭の右側と右肩が壁にぶつかってしまう。

【対応】体調確認、声掛けにてしっかりと反応があり、立ち上がらせた後、椅子まで歩いて座っていただく。血圧124/81 脈90 酸素96 痛みや外傷はなし。入所施設とケアマネジャーへ報告し状況を伝える。それ以降も痛みの訴えなく、いつもとお変わりなく過ごされる。

【今後の対応】押し車の位置、足の運びを見ながら、押し車が進み過ぎないように押さえたり、歩行のスピードを確認しながら訓練を行う。休憩を適宜、はさむようにする。すぐに体を支えられる位置にて付き添い、訓練を進めていくようにする。

R4年1月5日 10時30分頃

【内容】入浴後に、脱衣所からフロアへ出ていく際に、右足(麻痺側)が柱の角に引っかかってしまい、左手で掴んでいた手すりのみでは体を支えきれずに、ズルズルと尻もちをつくように左側から倒れこまれる。

【対応】介助にて起き上がっていただき、椅子まで歩き座っていただく。体温36.5 血圧123/59 脈65 酸素97 痛みや外傷なし。ご家族へ連絡し、状況を説明する。異常があれば、すぐに受診をしてくれるとの返答があり。ケアマネジャーへも連絡し、状況とご家族から言われたことを伝える。それ以降も痛みや外傷はなく、お元気に過ごされる。

【今後の対応】利用者様の体を支えられる位置にて介助を行う。視界に入るような立ち回りでの介助を行い、動こうとしている利用者様がいる場合には声掛けをしっかりと行う。

ヒヤリハット報告

- A様が飲まれていたお茶を別の利用者様が飲まれてしまった。
- 洗面台で口腔ケアをしている際に、床に座り込んでしまった。
- 午睡時、ベッドに横になられていた利用者様がベッド下を覗き込み、身を乗り出されていた。
- めくっていた洋服を直そうとして、口腔ケアをしている方の服を、別の利用者様が引っ張ってしまった。
- ベッド脇に座っていた利用者様が、後ろに倒れこんでしまった。

事故やヒヤリハットが発生した場合には、その都度職員間で話し合いを行い、再発防止に努めている。職員会議でも話し合いの場を設け、事故を未然に防ぐことができるよう取り組んでいる。

3.活動報告

- 手指の機能訓練として、季節に合わせた展示物の作成
9～11月には、介護フェアのために春夏秋冬を表す置き型の作品作成
- 口腔機能向上サービスの実施(コマキ歯科の医師、歯科衛生士の助言を受け、デイサービスの看護師による指導) 対象者:7名
- 脱水対策(経口補水液・ゼリーの常備)
- 防災訓練の実施(R3.9.11:土砂崩れを想定した訓練、R4.3は水害想定での訓練を予定)

4.感染症対策

新型コロナウイルス感染症防止に対する取り組みを様々行っている。

- お迎え時の体温測定(職員も毎日2回の検温、発熱時には出勤停止)
- 送迎車にフェイスシールド・マスク・体温計の常備
- 来所時の手洗い・うがいの徹底とマスク着用の徹底
- 入浴介助中の職員のマスクの徹底
- 会話に伴う飛沫感染防止の為高さ約60cmのシールドカーテンの設置
- 1時間ごとに5～10分程度の換気
- 午睡後には布団や枕の消毒、枕カバーの洗濯
- 日中に2回と利用時間終了後に室内の消毒(椅子・テーブル・手すり・平行棒・水回り他)
- 利用時間終了後に送迎車の消毒
- 旅行後や県外から来た人と接触した場合には、PCR検査の実施
- 職員の9割以上がワクチン接種終了済

5.質疑応答

コロナが全国で出ており、山梨県でも連日多い状況です。クラスターなどの話を聞きますが、それによりお休みされる方はいらっしゃいますか？

今現在、利用者様やご家族、職員で感染した方はおりません。感染者が急激に増えた1月頃に、予防としてお休みされる方がおりましたが、1週間ほどで戻ってこられていました。この先も、感染者が減ることはないだろうし、利用者様がデイへ行きたいと言われているとのことで、ご家族は利用の再開を決められたそうです。

こども110番の家は、登録条件が難しいのですか？

日常どなたかが在宅している可能性が高い家庭で、児童・生徒が助けを求めた時に、一時的に保護し、かつ警察に110番通報ができる家庭(商店などを含む)が条件となっているようです。登録は小学校へ相談し、行ったとのことでした。

今回資料に挙げられている活動のほか、コロナ禍において事業所として工夫を凝らして実施した活動はありますか？

資料に挙げている活動の他に実施しているものとしては、まず手作り昼食を多く行うようになったことです。それまで、月に一度程度、外食を行っておりましたが、それができなくなってしまいました。そのため、それぞれの曜日でお寿司や牛丼のテイクアウト、カレーライスやほうとうなどの手作り昼食の提供を多く行うようにしました。また、おやつレクを行う際に以前は、テーブルごとに協力しながら作る事が多くありましたが、最近は個人個人で作ることができるような対応をしています。作るおやつの内容も、以前はお好み焼きやホットケーキなど、同じものを繰り返し作っていることが多かったのですが、最近は季節のものを多く取り入れたり、都道府県ごとのおやつ(北海道のちくわパン、鹿児島県のかん饅頭、京都府の八つ橋など)を作ったりして、バリエーションを増やししながら、感染対策でピリピリと緊張している中でも笑顔や楽しみをもって取り組めるように対応しています。

その他には、毎週水曜日に入口カーテンの洗濯と、脱衣所の仕切りカーテンは毎日たくさん手に触れるものなので、入浴終了後に毎日洗濯しています。加湿のため、入浴中に使用したタオル等は、洗濯後にフロア内へ干しています。そのタオル等を以前は乾いてから利用者様に畳んでいただいていたのですが、現在は手指消毒後に職員が畳んでいます。

一人一人、マスクケースを作成し、座る目の前に吊るすことで、食事等で外す際に入れられるようにし、他の利用者様のマスクと混ざらないようにしています。入浴時にもマスクは外すので、着脱室にもマスクケースを掛けられるようにし、他の場所へ触れないようにしています。そして、利用終了後に消毒を行っています。

「こども110番の家」にするために
挨拶運動以外に行っている取り
組みはありますか？

コロナ以前に、保育園との交流会を予定していましたが、タイミングが合わずに開催することができませんでした。コロナが増えて直接の交流が難しくなってから、zoomなどを活用しながら、離れていても同じ時間を共有できる、という交流の仕方を提案していただいたことがありました。ようやくzoomを使用する環境が整ったため、進めていきたいと思っています。

以前、包括より地域貢献や地域との繋がりを構築するきっかけとして「認知症キャラバンメイト」や「チームオレンジ」について提案させていただきました。キャラバンメイトの取得やチームオレンジにつきましては現在は、いかがお考えでしょうか？

以前、ご提案いただき確認したところ、職員の中に認知症サポーター養成講座の講師役(キャラバンメイト)はおりませんでした。職員会議で話をし、その中で興味があるという話はできましたが、実際に動くことが出来ていないのが現状です。再度、前向きに検討していきたいと思っています。

6.運営委員からの評価

(利用者)みんなとても良くしてくれて、いつも感謝している。元気に過ごせているのは、ここに来ているおかげだと思っている。みんなと話ができるのも嬉しい。

(利用者家族)特にこれ以上してもらいたいことはありません。よく見てもらって助かっている。これからもお願いします。

(地域の代表者)転倒などの事故が起こっても、速やかに対応をしている様子なので、利用者さんやその家族も喜んでいるのだと思う。大変だとは思いますが、対応も色々考えているようなので、そのまま頑張っ行ってほしい。コロナもなかなかおさまらずに、大変だと思いが対策も引き続き行っていき、利用者さんたちが元気に過ごせるようにして行ってほしい。何か手伝えることがあればしますので、いつでも言ってください。

(知見を有する者)事故・ヒヤリハットについて【内容】【対応】【今後の対応】と分かりやすく記載しており職員間でも共有ができている印象です。ケアマネにも事故があった際に連絡を行っており、ありがたいです。他のデイにて家族には連絡したがケアマネに連絡がなく、モニタリング訪問時に家族から事故を聞かされてガッカリすることもあります。転倒はない事に越したことはないですが、日ごろから個別ケアの方法や環境整備で事故を軽度で防げると思うので、事故・ヒヤリハット報告を継続していけたら良いと思います。コロナ対策に対しては新規でデイサービスを利用希望あるが、本人・家族がコロナ感染を心配してデイサービス利用を我慢し自宅で大変な思いをしているケースも把握しています。デイサービスのコロナ対策の安心度が増せば必要な利用者に通常通り小規模のデイサービス利用が提供できると思うので今の対策を大変ですが継続をよろしくお願いします。

(地域包括支援センター)事故防止において、状況の分析やその後の対応策など適時、職員間で共有している様子が伺えました。職員の意識の変化も見られているとの報告も以前確認させていただきました。今後も常に事故の防止を職員の皆で意識し取り組んでいただきたいと思います。山梨においても、新型コロナウイルス感染者が高止まりしている状況中、利用者様や職員に対して感染予防対策において徹底されている状況ではありますが、他の事業所からも利用者様や職員が新型コロナウイルス感染の陽性者の報告が多く聞かれています。これまでの対応など職員の皆様方も疲弊していると思いますが対応策を継続し、万が一利用者や職員にて陽性者がでた場合の対応や陽性者個人、その家族に対しても事業所としてできる配慮やフォローが必要であると感じています。活動においては制限がされている中、職員の皆様方で工夫を凝らし、利用者様や家族、地域の方が求めている活動を今後も検討し提供していただきたいと思います。

7.今後の活動

- 地域の子どもたちに気軽に声をかけてもらえるような雰囲気の良いデイにする
- 挨拶運動を引き続き実施
- 現在ある新しい生活様式の中での交流の仕方を考えていく

次回、運営推進会議は、令和4年8月の予定